

親愛なる寺田先生

～師・寺田寅彦と中谷宇吉郎展～

高知県出身の両親を持ち、自身も高知県で少年期を過ごした物理学者・随筆家の寺田寅彦(1878-1935)は、多くの優秀な科学者を育てました。一番よく知られているのが、雪や氷の研究で有名な、中谷宇吉郎(1900-1962)です。「天災は忘れた頃にやってくる」(寅彦)、「雪は天から送られた手紙である」(宇吉郎)などの二人の言葉と共に、寅彦と宇吉郎の親しい交流の中で育まれた、科学、芸術、生き方を紹介します。

展示構成

1 寺田寅彦と中谷宇吉郎

寅彦と宇吉郎の生涯や人となり、二人のゆかりの地、お勤めの作品などをご紹介します。

2 師弟の出会いと交流

宇吉郎は、師・寅彦から科学や芸術など多くの面で影響を受け、生涯、師を深く敬愛しました。

二人の足跡、出会いと寅彦の薫陶の様子、温かい師弟の交流が窺える資料をご紹介します。



寅彦が宇吉郎に贈ったスプーン
(一般財団法人 中谷宇吉郎記念財団蔵)

①寅彦・宇吉郎について

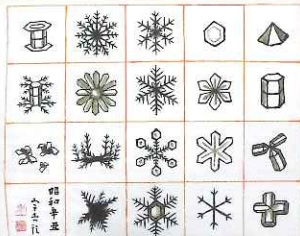
年譜での紹介とともに、二人の愛用品などを紹介します。

②「球皮事件」と「火花放電」の研究

1924年3月19日、海軍飛行船SS3号が爆発しました。寅彦は11月にその原因調査を委嘱され、学生だった宇吉郎とともに「飛行船の球皮の放電の実験」を行います。

宇吉郎の火花への興味や、寅彦との研究の様子をご紹介します。

宇吉郎が撮った火花放電写真
(写真提供/一般財団法人
中谷宇吉郎記念財団)



宇吉郎画「雪華図説」(複製)
(中谷宇吉郎雪の科学館友の会蔵)

③宇吉郎の北大赴任と雪の研究

宇吉郎は1930年、北海道帝国大学理学部助教として札幌へと赴任し、教授になった3年目の冬、雪の研究をはじめました。1932年には、北大の集中講義で寅彦が札幌を訪問しています。

宇吉郎が励んだ雪の研究をご紹介します。



寅彦宛漱石絵「ハガキ」
(当館蔵)

④絵画・随筆

寅彦は、第五高等学校時代の英語教師だった夏目漱石と出会い、文学や絵画など芸術への興味を深めていきました。

宇吉郎は、師の影響を受け、油絵をたしなみ、また「理学部雑誌」に随筆や詩を発表するようになりました。漱石と寅彦、寅彦と宇吉郎という師弟のつながりを、絵画や随筆作品を通して感じて頂きます。

memoru (etude no. 19本) 日常のための練習曲「泉鏡の夜明けの物語」のためのヴァリエーション、短い前奏曲とともに 2014年のthe artist.courtesy of Museum of art WARAKOH Yuka Tsuruno Gallery 撮影 mitsu maeda



3 言葉

「天災は忘れた頃にやってくる」(寅彦)、「雪は天から送られた手紙である」(宇吉郎)など、師弟の研究や交流から生まれた名言とそれにまつわる資料、寅彦や宇吉郎の随筆が掲載された教科書をご紹介します。

Intermezzo(間奏曲)

アートや世界結晶年、二人の名のついた小惑星など、寅彦と宇吉郎の世界を、さまざまな視点でご紹介。また、新資料紹介のコーナーもあります。

関連企画

※記念講演「寅彦と宇吉郎」

日時 2015(平成27)年12月12日(土)
午後2:00～3:30
(開場 午後1:00～)

場所 高知県立文学館1Fホール
講師 前 中谷宇吉郎雪の科学館館長
神田 健三氏

参加費 当日観覧券が必要となります。

申込 電話または文学館受付にて
事前申し込み。(定員100名)

※雪と氷のふしぎ実験

宇吉郎の雪と氷の研究を実際に体験してみよう!

予定実験 氷の花(チンダル像)
氷のスタンドグラス、氷のペンダント
ダイヤモンドダスト(本実験のみ)



【本実験】

日時 2015(平成27)年12月13日(日)
午後2:00～3:30
(開場 午後1:00～)

場所 高知県立文学館1Fホール
講師 前 中谷宇吉郎雪の科学館館長
神田 健三氏

参加費 諸経費100円+当日観覧券が必要となります。

申込 電話または文学館受付にて
事前申し込み。(定員50名)

【ミニ実験】

日時 会期中の日曜日(12月6日、27日を除く)
午後2:00～3:00

場所 高知県立文学館1Fこどものふんがく室
講師 当館職員、寺田寅彦記念館友の会会員

参加費 諸経費100円+当日観覧券が必要となります。

申込 不要(当日、直接会場までお越しください)
(定員10名)

※朗読の会

「寅彦・宇吉郎の随筆を読む(仮)」

文学館朗読サポーターの皆さんによる、作品の朗読です。

日時 2016(平成28)年1月16日(土)
午後2:00～

場所 高知県立文学館1Fホール

参加費 無料

申込 不要(当日、直接会場までお越しください)

※文学散歩「寅彦先生の散歩道(仮)」

高知にある寺田寅彦のゆかりの地を、細川光洋先生(静岡県立大学)と一緒にめぐります。

日時 2016(平成28)年1月11日(月・祝)

集合場所 高知県立文学館

参加費 未定

申込 電話または文学館受付にて
事前申し込み。(定員30名)

※展示解説

展覧会担当者による展示解説です。

日時 毎週土曜日 午後1:30～(20分程度)

場所 高知県立文学館2F企画展示室

参加費 当日観覧券が必要となります。

申込 不要(当日、直接会場までお越しください)

会期中、紋切りや
雪の結晶の折り紙なども楽しめます。